



平成 21 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 大証金（大阪証券金融株式会社）
代 表 者 名 取締役社長 堀田 隆夫
（コード番号 8512 東証・大証 第一部）
問 合 せ 先 取締役企画総務部長 西山 剛
（TEL. 06-6233-4510）

平成 21～23 年度中期経営計画の策定について

本日開催の取締役会において、平成 21 年～23 年度における経営目標、数値目標等を盛り込んだ中期経営計画について決議いたしましたのでお知らせいたします。

- 平成 21～23 年度中期経営計画の概要…別紙

以 上

平成 21～23 年度中期経営計画の概要

【基本認識】

平成 21 年 3 月期における株券レポ取引および証券担保ローンにかかる多額の損失発生を踏まえ、経営改善に向けた諸施策を強力に推進し、企業価値の向上に邁進する。

1	「証券のための金融、証券による金融」を創業時以来の社会的使命として再認識し、貸借取引業務を核として証券市場の発展に貢献する。
2	リスク管理体制の強化を重要課題と認識し、抜本的対応策を講じ、継続して実践する。
3	これまで以上にお客様の視点に立ち、質の高いサービスを提供し、顧客基盤の拡充強化を図る。
4	収益力強化のために、経費削減および合理化推進を徹底し、自己資本の回復を着実に図る。

【経営目標】

1	創業以来の経常黒字を維持し、平成 23 年度までに経常利益 10 億円を達成する。
2	優先株配当を堅持すると同時に、普通株についても早期に 1 株当たり年 6 円配当に復配し、安定配当の実施に努める。
3	財務内容の健全性の維持、向上に努め、安定的な企業経営に必要な水準を確保する。

【数値目標】

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 23 年度
経常利益	1 億円	3.5 億円	10 億円

(注) 数値目標の主な前提

- 平成 20 年度(実績)および平成 21 年度(見通し)は、5 月 14 日発表値。平成 23 年度は計画値(目標値)。
- 資金運用残高は、平成 21 年度に 2,550 億円まで減少した後、平成 23 年度にかけて約 25%増加する想定。
- 短期金利は、横這い推移した後、平成 23 年度末までに 0.4%上昇する想定。

【平成 21 年度経営計画】

○ 経営目標

1	提携先との連携強化により収益基盤の強化を図る。
2	「リスク管理体制の抜本的強化策」(4 月 30 日発表)を徹底して実践する。

○ 重点戦略

1	ヘラクレス・ジャスダック統合市場における貸借取引業務の開始に向けた取組みの推進
2	証券会社等との提携戦略の推進により、富裕層顧客の開拓など顧客基盤の裾野拡大
3	不良債権の新規発生防止に重点を置いたリスク管理態勢の強化
4	業務等の整理合理化を含めた徹底的なコスト削減

本資料には、当社の業績に関する将来の予想、見通し等の記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績の実現を保証するものではなく、不確実性やリスク要因が含まれているため、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。